

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
地域観光論 Area Tourism		1年	後期	金曜日・5時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
国際観光論、トラベルコーディネート				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国際観光論、トラベルコーディネート				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小鮎 滋則	講師室	金曜日 10時～16時 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
特定の地域に関する観光資源および地域観光の現状と課題について学びます。観光による地域振興策を策定するため、観光地をタイプ別に分け来訪者の動向や地域の現状と課題を学びます。				
授業の到達目標				
国内、海外の都市観光地やリゾート地、地域が連携して創る魅力ある観光地などを理解し、自ら提案できるようにする。				
授業の方法				
講義が主体ですが、近在の都市で成功している事例の研修も行います。また、受講生全員に自分で選んだ観光地の現況についてのレポート提出を義務付けています。				
学習の成果				
①国内・海外の観光資源および地域観光の現状と課題に関する基礎的な知識を習得することが出来る。②都市やリゾート、地域が連携して創る魅力ある観光地作りを提案することが出来る。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明 観光と観光事業			
第2回目	旅行市場の動向(旅行市場の構成、国内旅行市場・他)			
第3回目	観光政策と観光行政(国の政策、地方の観光政策と観光行政)			
第4回目	観光産業の構成と特徴(定義と種類、事業特性、地域経済との関わり)			
第5回目	観光産業のマーケティング(マーケティングの対象、活動の実際、他)			
第6回目	旅行業ビジネス(旅行業とは、商品と実態、旅行業と消費者保護)			

第7回目	宿泊産業ビジネス(経営特性、都市と観光地の宿泊施設、これからの宿泊施設経営)		
第8回目	交通運輸ビジネス その他の観光ビジネス(観光と交通の関わり、交通ビジネスの特性、テーマパーク、他)		
第9回目	ここまでのまとめと演習問題		
第10回目	観光資源と観光対象(観光資源とは、観光対象の特徴と魅力の評価、資源の保護)		
第11回目	観光と地域振興(観光街づくり、観光がもたらす地域への効果、他)		
第12回目	国内の成功事例と課題 1		
第13回目	国内の成功事例と課題 2		
第14回目	海外の成功事例(都市、地域、リゾート)		
第15回目	まとめと定期試験		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。授業に集中し、必要なことはノートに取り、積極的に質問する。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験		60%	15回目の講義時間に定期試験を行います。
発表内容(態度含む)		20%	各人に与えられた学習課題の発表内容と態度を評価します。
その他			
教科書と参考図書			
「都市観光でまちづくり」 学芸出版社			
履修上の心得・ルール			
近辺の市町村の事例などの関心を持ち、情報を収集し考察すること。			